

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
9 3	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>	
Marijuana use, diet, body mass index, and cardiovascular risk factors (from the CARDIA study). マリファナの使用と、食事や BMI、心血管病危険因子について—CARDIA 研究より—	
<b>執筆者</b>	
Rodondi N, Pletcher MJ, Liu K, Hulley SB, Sidney S; Coronary Artery Risk Development in Young Adults (CARDIA) Study.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b>	
Am J Cardiol. 2006 Aug 15;98(4):478-84.	
<b>キーワード</b>	
マリファナ、高カロリー食、収縮期血圧、HDL コレステロール、中性脂肪、BMI、心血管病危険因子、若者	
<b>要 旨</b>	
<b>背景：</b> マリファナ使用では、食欲増進、高カロリー食摂取、血圧の急上昇、血中 HDL コレステロール減少及び中性脂肪の減少との関連が知られている。マリファナは米国で使用される頻度が最も多い違法ドラッグであるが、Body mass index(BMI) や心血管病リスクに与える長期的影響は知られていない。	
<b>方法：</b> BMI や心血管病危険因子の関連性を調べた。「若者の冠動脈病危険因子の発展についての研究 (CARDIA study)」に参加した 3,617 人の白人と黒人の若者の 15 年間の長期データを用い、マリファナの使用とカロリー摂取、BMI、心血管病危険因子との関連を調べた。	
<b>結果：</b> 3,617 人のうち、1,365 人(38%)にマリファナ使用歴があった。マリファナ使用は、男性、喫煙者、他の違法ドラッグ使用歴のある者で多く見られた。より積極的にマリファナを使用する者はカロリー摂取が多かった。マリファナ非使用者では 1 日摂取カロリーが 2,746 キロカロリーであるのに対し、15 年間の間に 1800 日以上マリファナを使用している者では 1 日摂取カロリーが 3,365 キロカロリーであった。またこれらの対象者では飲酒量も多く(非使用者:3.6 回飲酒/週、使用者:10.8 回飲酒/週)、収縮期血圧が高く(非使用者:116.5mmHg、使用者:112.7mmHg)、中性脂肪値も高かった(非使用者:84mg/dl、使用者:100mg/dl)。しかし BMI や脂質、血糖値は高くはなかった。多変量解析ではマリファナ使用と収縮期血圧、中性脂肪の関連は消失した。これはマリファナ使用者の多くが多量飲酒者であるための交絡の影響と考えられる。	
<b>結論：</b> マリファナ使用は心血管病リスクと独立した関連は示さなかった。しかし、高カロリー食摂取や喫煙、他の違法薬の使用など将来健康に悪影響を及ぼすその他の不健康な行動と関連していた。	